

感染症発生動向調査 病原体検出状況

栃木県保健環境センター及び宇都宮市衛生環境試験所では、感染症発生動向調査事業実施要綱に基づき、県内の医療機関において患者から採取された検査材料について、病原体の検出を行っています。

2021年1月から12月の病原体検出状況について、次のとおり報告します。

※本報告では、確定診断に至っていない疑い症例も含んでいます。

1 栃木県保健環境センターにおける病原体検査実施状況について

(1) 搬入状況

月別検体搬入状況を表 1-1 に示しました。

検体数は 130 件で、内訳は、全数把握疾病が 114 件 (87.7%)、定点把握疾病が 13 件 (10.0%)、その他が 3 件 (2.3%) でした。全数把握疾病 114 件のうち、三類が 22 件、四類が 6 件、五類が 86 件となっています。

疾病別の内訳は、腸管出血性大腸菌 (以下「EHEC」) 感染症が 22 件 (16.9%)、カルバペネム耐性腸内細菌科細菌 (以下「CRE」) 感染症 22 件 (16.9%)、急性脳炎 36 件 (27.7%) が搬入されました。また、ジカウイルス感染症、つつが虫病、レジオネラ症、急性弛緩性麻痺、劇症型溶血性レンサ球菌感染症、風しん、麻しん、無菌性髄膜炎、ウイルス性髄膜炎などの検体が搬入されました。

(2) 検査方法等

国立感染症研究所の病原体検出マニュアル及び厚生労働省通知の方法などを参考に検査を実施しました。

(3) 結果

月別病原体検出状況を表 2-1 に、疾病別病原体検出状況を表 3-1 に示しました。

ア 全数把握疾病

- ・EHEC 感染症患者由来検体からは、EHEC が 21 株 (O26 : 2 株、O111 : 3 株、O157 : 12 株、O 型別不能 : 4 株) 検出されました。
- ・つつが虫病患者由来検体からは、*Orientia tsutsugamusi* (kawasaki 型) が 1 件検出されました。
- ・CRE 感染症患者由来検体からは、IMP 型カルバペネマーゼ産生株が 4 株、カルバペネマーゼ非産生株が 18 株検出されました。
- ・急性脳炎患者由来検体からは、アデノウイルス I 型が 1 件、アデノウイルス型別不明が 2 件検出されました。
- ・劇症型溶血性レンサ球菌感染症患者検体からは、A 群溶血性レンサ球菌 T 型別不能が 2 株検出されました。